

レントゲン透視下腰椎穿刺トレーナー

P65 | 1021898



イメージング技術のシミュレーション教材として、御遺体標本より安定的で経済的な本製品は、扱いも簡単で、必要なときにいつでもお役立ていただけます。

- 生体に準じた不透過性によりリアルなX線画像の撮影が可能
- リアルな穿刺の感触（棘突起、腸骨稜）
- 解剖学的に忠実な骨格構造
- 視覚的にも識別できるランドマーク

レントゲン透視下腰椎部穿刺を学ぶための理想的なシミュレーターとして、穿刺痕は自然と塞がるため繰り返し穿刺の練習ができます。

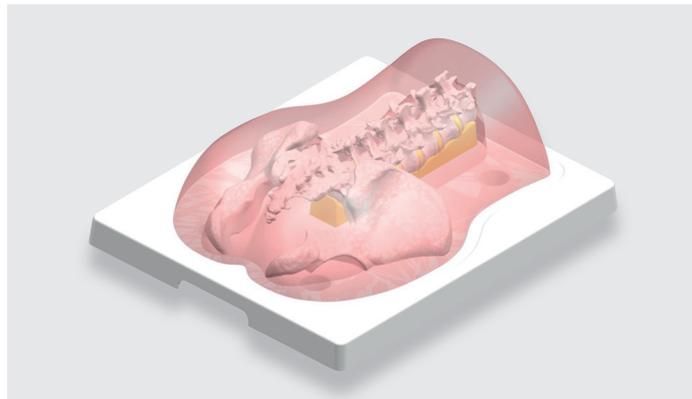
本製品で練習できる技術：

- ランドマークによる穿刺位置の確認
- 仙骨硬膜外ブロック
- 内側枝ブロック／経皮的ラジオ波焼灼療法（MBB/RFA）
- 経椎間孔硬膜外ブロック（TFSI）
- S1神経根ブロック
- 仙腸関節ブロック（SIJ-injection）
- 経椎弓間硬膜外ブロック



ご注意：

本製品は、レントゲン透視下穿刺用であり、触診トレーニングを目的に設計されたものではありません。棘突起部への反復的な触診や、必要以上に強い圧迫は、皮膚素材を破損させることがあります。

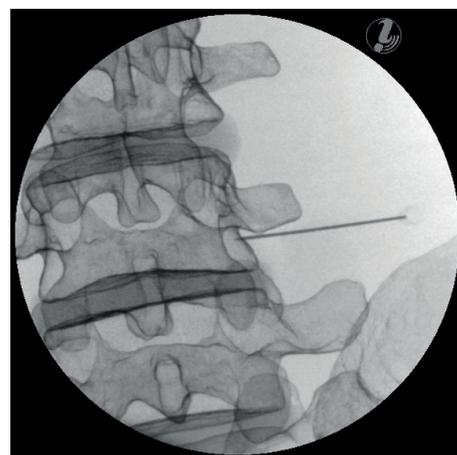




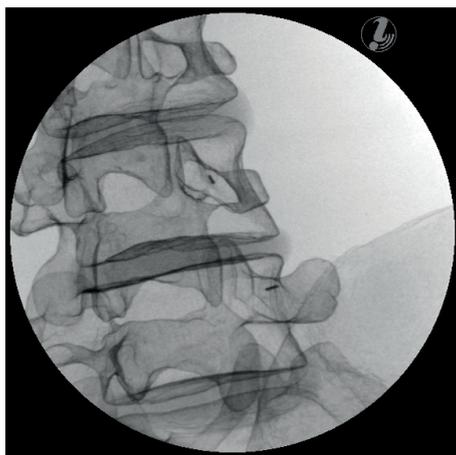
経椎間孔硬膜外ブロック，側面像



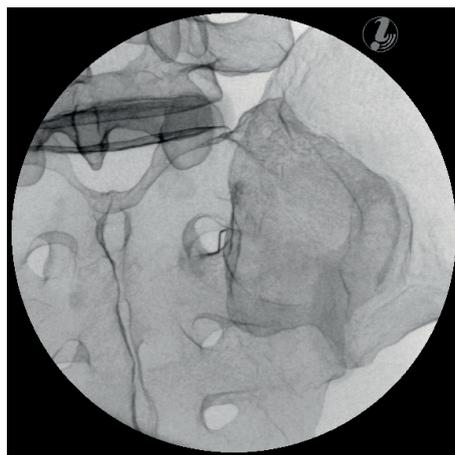
経椎間孔硬膜外ブロック，斜位像



経椎間孔硬膜外ブロック，前後像



内側枝ブロック



S1神経根ブロック

画像はイメージ・コンバーターを組み合わせたX線装置で撮影

References : Instrumentarium Imaging
ZIEHM VISTA
Max KVP : 110kV, Total filtration
4.0 mm AL
Focal spot : 0.5/ 1.5

© Dr. Markus Schneider, Bamberg



大切なお願い：

製品を長くお使いいただけるよう、トレーナーに穿刺するときはその都度、必ず付属の潤滑剤を針に塗ってください。また、トレーナー内に液体や造影剤を注入しないでください。

＞ お手入れ方法

トレーナーの汚れは水を絞った布でやさしく拭き取ってください。水分が乾いたら、付属のタルクパウダーを振りかけてトレーナーの皮膚表面全体に広げ、保護カバーをかぶせた状態で専用箱に入れて保管してください。

＞ ご利用環境

製品へのダメージを抑えるため、ご使用と保管は下記の温度範囲内の環境をお願いします。

使用温度範囲 0℃ ~ 30℃
保管温度範囲 -10℃ ~ 30℃

REACH規則 (EC) No.1907/2006で規制されている化学物質は、本製品に使用されておりません。

＞ 技術データ

寸法： 本体	420 x 350 x 125 mm
専用箱	600 x 400 x 220 mm
重さ： 本体	約 2190 g
本体を収納した専用箱	約 3170 g

＞ 運搬時のご注意

本製品の持ち運びや発送をする際は、必ず専用台座に載せたまま、付属の保護カバーをかぶせてください。



日本スリービー・サイエンティフィック株式会社

〒950-1135 新潟県新潟市江南区曾野木2丁目5番18号

Tel:0120-300-056, Fax: 025-282-3229, www.3bs.jp